

U.S. Indicators

米国 トランプ氏当選後も高い水準を維持(16年12月ISM非製造業・総合景気指数)

: 2017年1月6日 (金)

～10-12月期に景気が堅調さを増したことを示唆～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治

03-5221-5001

ISM非製造業景気指数

	総合指数	活動指数	新規受注	雇用	入荷遅延	受注残高	仕入価格	新規輸出受注	輸入	在庫変動
16/01	53.5	53.9	56.5	52.1	51.5	52.0	46.4	45.5	46.0	51.5
16/02	53.4	57.8	55.5	49.7	50.5	52.0	45.5	53.5	55.5	52.5
16/03	54.5	59.8	56.7	50.3	51.0	52.0	49.1	58.5	53.0	52.5
16/04	55.7	58.8	59.9	53.0	51.0	51.5	53.4	56.5	54.0	54.0
16/05	52.9	55.1	54.2	49.7	52.5	50.0	55.6	49.0	53.5	54.0
16/06	56.5	59.5	59.9	52.7	54.0	47.5	55.5	53.0	54.0	55.5
16/07	55.5	59.3	60.3	51.4	51.0	51.0	51.9	55.5	53.0	54.0
16/08	51.4	51.8	51.4	50.7	51.5	49.5	51.8	46.5	50.5	48.0
16/09	57.1	60.3	60.0	57.2	51.0	52.0	54.0	56.5	51.0	51.5
16/10	54.8	57.7	57.7	53.1	50.5	52.0	56.6	55.5	53.0	52.0
16/11	57.2	61.7	57.0	58.2	52.0	51.0	56.3	57.0	54.0	51.5
16/12	57.2	61.4	61.6	53.8	52.0	48.0	57.0	53.0	50.0	52.0

(出所) ISM

非製造業景気指数は 57.2と前月比変わらず

16年12月のISM非製造業景気指数(季節調整値)は、57.2と前月比変わらずとあまり市場予想の56.8を上回った。支持率の低かったトランプ氏が大統領選で勝利した後も、非製造業部門が堅調さを維持していることを示した。ISMは、12月の57.2という水準はGDPが前期比年率で+3.3%成長していたときの水準と指摘している。総合指数の算出項目をみると、雇用、活動指数が低下した一方で、新規受注が上昇した。寄与度では、雇用が前月比▲1.10%ポイント、活動指数が前月比▲0.08%ポイントの押し下げ寄与となったものの、新規受注が前月比+1.15%ポイントの押し上げ寄与となった。入荷遅延は前月比+0.00%ポイントと変わらず。全ての構成項目が拡大縮小の分岐点となる50を上回ったうえ、活動、新規受注は高い水準となっており、全般的に良好な内容。

拡大した業種数は、全18業種中12業種(11月14業種)と減少したが、過半数を上回っている。拡大した業種(下線は拡大、縮小が2カ月以上続いたことを示す)は、鉱業、小売業、金融・保険、情報産業、芸術・娯楽・レクリエーション、建設業、その他サービス、医療・社会支援、専門・科学・技術サービス、公益、運輸・倉庫、宿泊・飲食サービス。一方、縮小した業種数は3業種(11月2業種)と増加した。農林水産業、卸売業が縮小に転じたなかで、継続して縮小している業種は、公的部門にとどまった。なお、教育サービス、企業向けサービス、不動産は変わらずとなった。

ISM総合景気指数は 米経済の緩やかな拡大 の継続を示唆

米国経済全体の景気動向を示す「ISM総合景気指数(非製造業景気指数と製造業景気指数で合成)」は、12月で57.0と11月の56.8から0.2%ポイント上昇した。10-12月期では、56.1と7-9月期の54.3(16年4-6月期54.7、16年1-3月期53.4、15年10-12月期56.1)を上回っており、10-12月期の米国経済は堅調さを増したことを示している。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

ドル高や中国経済の減速による需要抑制の続くもとで、雇用所得の増加や資産価格の上昇等による個人消費の拡大を背景に、ISM総合景気指数は当面現状程度の高い水準で推移すると予想される。

